

iCSレター

～5分で分かる板橋区コミュニティ・スクールの「いま」～

2018年11月発行 発行元:教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

今回のiCSレターは、現在開催されている「コミュニティ・スクール推進委員会」の様子や、「コミュニティ・スクール学習会」の様子、「板橋区コミュニティ・スクール導入」についてご紹介します！！

★CS推進委員会の様子★

今年度、区立小中学校10校に設置している「コミュニティ・スクール推進委員会」において、各校の学校運営や課題に対して、熟議等を活用した『熱い会議』が開催されています！

今回は10月・11月にコミュニティ・スクール推進委員会を開催した学校から、「蓮根第二小学校」「赤塚第三中学校」の様子をご紹介します！

蓮根第二小学校

蓮根第二小学校では、地域の力を活用して取り組める学力向上・体力向上について熟議を行いました。

熟議では、現状として授業時間以外にも、学校支援地域本部等の活動による朝学習や放課後学習等、多くの学習時間を確保していることで、新たな取組より今ある取組を工夫し、学力向上・体力向上につなげられないかという校長先生の思いを受け、委員がそれぞれの思い・意見を出し合いました。その中で、あいキッズとの連携が一つのキーワードとなり、連携の強化が必要ではないかという意見が挙がりました。それらの意見を踏まえ、今後はあいキッズと連携した学力向上・体力向上について、具体的な取組につなげるため、改めて検討していきたいということで閉会しました。

【近隣小学校長2名・副校長1名が見学しました】



赤塚第三中学校

赤塚第三中学校では、生徒・保護者の学校評価項目の文言について、熟議を行いました（1時間目のみ教職員7名が出席）。グループ内で出た意見を全体で共有し、最終的にどのような文言にするかまとめた後、副委員長がはかり、全員の拍手をもって承認しました。

引き続き委員のみで、次年度の学校運営の基本方針及び学校支援活動についての熟議も行いました。平成30年度の学校経営方針を示した後、伸ばしたい点や課題がある点等についてそれぞれグループで話し合い、最後に全体で意見を共有しました。意見として、「小中一貫教育の視点を学校経営方針の中にもっと入れていってもいいのではないか」「CS委員会が学校経営方針を校長と一緒に検討していくという文言を入れ、実施できればよい」等が出され、活発な会議となりました。【教育長・近隣小学校長3名が見学しました】





♪コミュニティ・スクール学習会を開催しています♪

今年度、コミュニティ・スクール推進委員会を設置していない区立小中学校63校（小学校44校・中学校19校）に、コミュニティ・スクール推進委員会の設置（2019年度）に向けた協議・準備を行うため、「コミュニティ・スクール学習会」を設置しています！

コミュニティ・スクール学習会では、区教育委員会が作成した動画「iCSへの第一歩」の視聴や、スライドを活用した板橋区コミュニティ・スクールの仕組みについての学習、コミュニティ・スクール推進委員会委員の選りや会議の運営方法等について協議する等、教職員や保護者、地域の方を対象とした学習が行われています。

また、コミュニティ・スクール推進委員会設置校10校の会議の様子を校長先生等が見学するなど、着実に板橋区コミュニティ・スクール導入に向けての準備が進んでいます♪

今回、コミュニティ・スクール学習会を開催するという情報をいただき、蓮根小学校の学習会（10月20日（土）開催）にお邪魔してきました。その時の様子を簡単にご紹介します！

蓮根小学校 コミュニティ・スクール学習会



動画「iCSへの第一歩」を視聴し、板橋区コミュニティ・スクールの仕組みについて、必要に応じて説明している様子です♪



コミュニティ・スクール学習会の見学やインタビューに快く応じてくださいました湯本校長先生ありがとうございました！



スライドを活用して板橋区コミュニティ・スクールについて学習しました★

◆板橋区コミュニティ・スクール導入に向けて◆



今年度、様々な機会をいただき、学校や地域に向けて板橋区コミュニティ・スクールについての説明を行う等、周知に努めていますが、板橋区コミュニティ・スクールの導入について「従来の仕組みとの違いが分からない」「既に地域との連携が上手くいっているので導入する必要があるのか」等の意見をいただいています。

板橋区コミュニティ・スクールは、直ぐに何か新しい取組をするものではなく、今ある組織や仕組みを生かして取組の充実を図るための仕組みのため、従来の仕組みと大きく変わることはありません。しかし、従来の仕組みに比べ、法に基づく会議体のため、学校と地域の連携・協働の仕組みが強化される等、より発展的な取組につなげることが可能となります。

また、板橋区コミュニティ・スクールを導入することで、校長や教職員の異動、地域での世代交代等が行われたとしても、コミュニティ・スクール委員会を通じて学校と地域が相互で、組織的な連携・協働体制を継続することができます。

学校と地域の連携・協働体制の継続は、大規模災害時の円滑な対応や多くの大人の専門性・地域性を生かした学校運営、そして、子どもたちの学びや体験活動の充実につなげることができます。